

平発電所における水の使用状況について(概要)

【平発電所の概要】

所在地：長野県長野市

最大出力：15,600KW

有効落差：14.14m

許可使用水量：130.00m³/s

運転開始：昭和32年11月11日

【これまでの経緯】

昭和29年 3月25日：平発電所の水利使用許可を取得。

昭和31年 7月16日：「発電用水車の冷却」、「飲料」を目的とする「河水引用」及びこれを取水するための施設（仮設）の設置に関する許可を取得。

昭和32年11月11日：平発電所運転開始。

昭和32年11月15日：仮取水施設の設置に関する許可の廃止届けが受理される。

なお、当該取水施設は移設され、その後現在でも使用されている。

昭和34年 3月31日：「河水引用」の許可期限満了。

【水使用の状況】

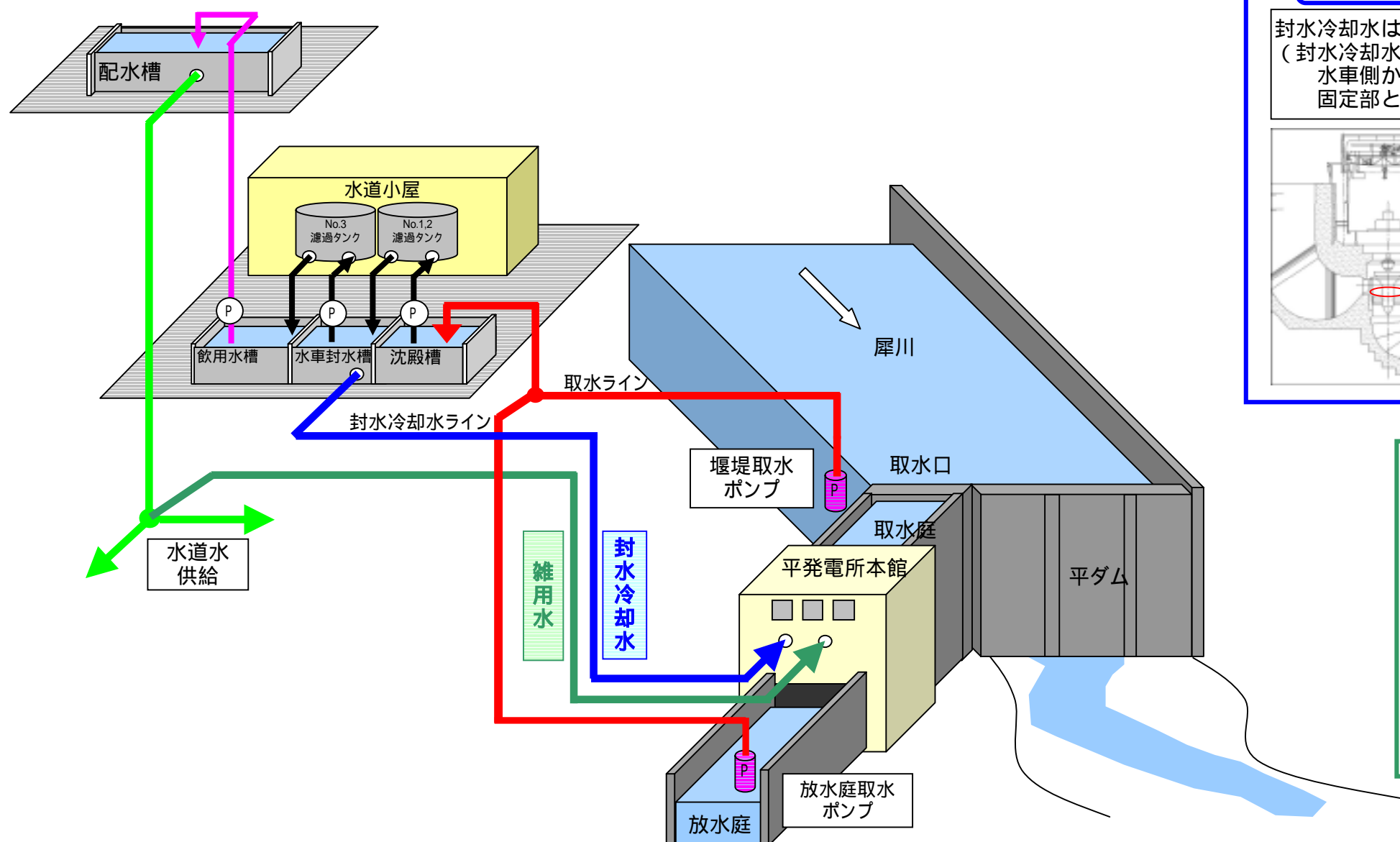
取水ポンプは、平ダムのダム湖（堰堤）及び放水庭の2箇所に設置されており、通常時はダム湖に設けられたポンプから取水し、出水時などダム水位の低下によりダム湖より取水できない場合は放水庭に設けられたポンプから取水。

取水された水は、水道小屋に運ばれ、発電所の発電用水車の冷却水、雑用水および水道給水として使用。

- ・封水装置の冷却水：0.0008m³/s
- ・発電所の雑用水：極少量
- ・水道水供給：0.0005m³/s

【問題点】

冷却水等に係る水利使用許可の期間更新手続きが昭和34年 3月31日以降なされていないこと。

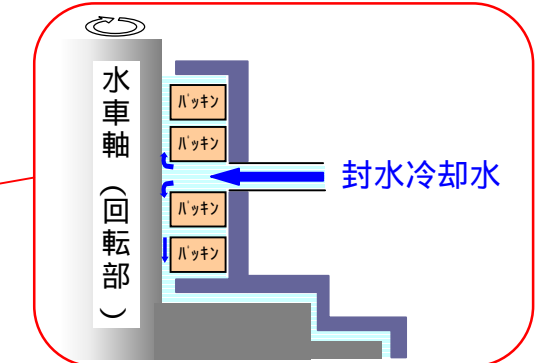
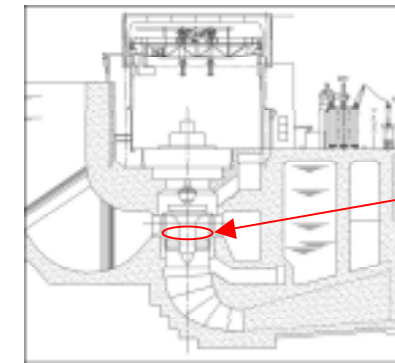


封水冷却水

封水冷却水は主軸封水装置に使用されている。

(封水冷却水の役割)

水車側から軸伝いに上側に漏れてきた水を封じ込める。固定部と回転部との摩擦により生じた熱を冷却する。



雑用水

(発電所内の手洗い場)

(屋外の手洗い場)

